

2022年8月5日

代表世話人 長田 恭一
事務局 日清オイリオグループ株式会社

第12回 機能油脂懇話会 開催のご案内

甚暑の候、皆様方にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本懇話会に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当会は、2010年から「機能油脂懇話会」と改称し、様々な角度からの油脂の機能性に関する研究について活動を継続しており、昨年の第11回までを盛会裏に終えることができました。

本年も、山梨大学の望月 和樹先生を会頭に、また明治大学の長田 恭一先生にお世話いただき、第12回機能油脂懇話会を以下の日程で開催します。

第1幕は、「DOHaD と油脂栄養」と銘打ち、国民医療費の抑制にむけたいわゆる「先制医療」の基盤をなす学説として、医学領域にとどまらず生物学全体における新しい研究課題として注目されているDOHaDの現状に焦点をあて、シンポジウムを開催することにいたしました。講演は関連分野において最先端を走る先生にお願いしております。

第2幕は、例年通りショートプレゼンテーションとして一般演題（口演）を募集させていただきます。奮ってお申し込みを頂きますようお願いいたします。

懇話会終了後、懇親会も予定しております。是非ともご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 開催概要

○日時：2022年10月29日（土）

13時～17時30分 シンポジウムおよび一般発表（受け付け開始：12時）

18時～20時 懇親会

○会場：明治大学駿河台キャンパス（東京都千代田区神田駿河台1-1）

シンポジウム、一般発表 グローバルフロント 4021教室（2階）

懇親会 明治大学紫紺館椿山荘 ラウンジ（6階）

○ハイブリッド開催：全ての演題をライブ配信します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によってはオンライン開催のみに変更になる場合もございます。

○主催：機能油脂懇話会

○協賛：日清オイリオグループ株式会社

○参加費：無料（懇親会は別途2,000円）

2. プログラム (13 : 00～17 : 30) (予定、敬称略)

第1幕 開会の辞

「ミニシンポジウム : DOHaD と油脂栄養」

1) 「生活習慣病予防は妊娠中にあり -DOHaD(ドーハッド) 説から考える-」 (13 : 05～13 : 55)
福岡 秀興 (福島県立医科大学 周産期間葉系幹細胞研究講座 特任教授)

2) 「DOHaD に関する疫学研究の読み解き方」 (13 : 55～14 : 45)
目時 弘仁 (東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室 教授)

3) 「DOHaD 学説から見た肥満における乳汁成分の重要性」 (14 : 45～15 : 35)
橋本 貢士 (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科 主任教授)

コーヒーブレイク (15 : 35～15 : 50)

第2幕 一般演題発表 (口演) 4 演題 (15 : 50～16 : 42)

第3幕 総合討論 (16 : 47～17 : 20)

第4幕 閉会の辞 (17 : 20～17 : 30)

3. 懇親会 (18 : 00～20 : 00)

4. 参加を申し込まれる方へ

参加ご希望の方は、別添の「第12回機能油脂懇話会参加申込票」に記入して、9月30日までに「kinouyushi@nisshin-oillio.com」宛に E-メール添付でお知らせください

5. 一般演題発表を申し込まれる方へ

別添の「第12回機能油脂懇話会参加申込票」に記載の要領で発表要旨を9月30日までに、「kinouyushi@nisshin-oillio.com」宛に E-メール添付でお申込みください

6. 発表形式について

一般演題の形式は口演発表です。時間は発表10分、質疑応答3分を予定しております
会場での発表の他にも、会場外からの Web による発表も可能です。
発表スライドは準備の都合上、パワーポイントでお願い致します

7. 申込・問合せ先

機能油脂懇話会事務局 : kinouyushi@nisshin-oillio.com

機能油脂懇話会 HP : <http://kinouyushi.org/>

アクセスマップ



会場周辺地図



←神保町駅へ歩5分

御茶ノ水駅へ歩4分→
新御茶ノ水駅へ歩6分↓



 キャンパス内の各校舎は「多目的トイレ」「エレベーター」を完備しています。(10号館・猿楽町校舎を除く)

【一般演題発表の要旨について】

一般演題発表を申し込む方は、下記の要領に沿って作成頂くようお願い致します。
また、作成した要旨はメールに添付してご送付下さい（Wordでの作成をお願いします）。

・要旨枚数：A4 1枚

・要旨の形式（例）

講演タイトル α -リノレン酸の抗炎症効果に対する・・・・・・・・

発表者 ○○○○¹・△△△△²・□□□□³

所 属 ¹○○大学○○学部、²○○大学大学院○○研究科、³○○研究所

【目的】 _____

【方法】 _____

【結果】 _____

【考察】 _____

以上